

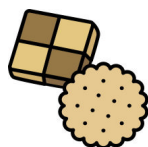


にじいろサポーター

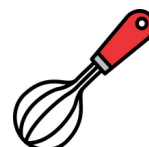
2012. 10. 5 発行

チャレンジキャンパスさっぽろが、設立されて1年半になろうとしています。1年生5人、2年生5人となり毎日賑やかに学習しています。今回の通信第2号では、半年が過ぎてしまいましたが感動の「研究発表会」のことと「夏のデイキャンプ焼き肉交流会」のことをお伝えしたいと思います。その中にもたくさんのドラマがありました。そのさわりだけでもお伝えできればと思います。

また、12月に計画しているにじいろ福祉会後援会主催の学習会のことも合わせてお知らせします。



感動の研究発表会でした



チャレンジキャンパスさっぽろの設立時にこの研究発表会が定に入っていました。研究発表会は興味を持ったことについて学習したことを大勢の人の前で話すことで、コミュニケーションの力を育て、高校生時代にはあまりなかったアカデミックな体験をすることで利用者の1年間の成長を確認する場として計画されたということです。

正装した利用者達がそれぞれの発表の他に司会をしたり、オープニングセレモニーを担当したり、受付をしたりと大忙しでした。5人の発表の様子を少しですがお知らせします。



小澤さん
司会をがんばって
いました。アイドルの嵐
についてテレビ番組を
中心にして発表しました。



相馬さん
オープニングセレモニー
では獅子舞を踊ってく
れました。



石原さん
大勢の人の前で話す
ことが苦手で、星座に
ついて発表することが
できました。



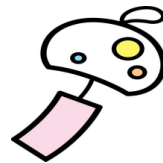
石黒さん
太陽系の惑星について
調べました。いろいろな
事がわかるととても
楽しくなりました。



神野さん
受付をしてください
ました。カフトムシに
ついて発表し、自分で
作ったミニチュアを見
せてくれました。



夏のキャンプに行ったよ。



8月9日から10日まで西岡でキャンプをしました。夏のキャンプです。なんと、夜は、にじいろサポーターとの交流もしました。総勢30人で焼き肉をしたり、蛍狩りにも行きました。

チャレンジキャンパスさっぽろでは、この日に向けて飯ごうでのごはん炊きを練習してきました。ごはんの沸騰が確認しづらいときは、棒をふたにくっつけて耳で様子を確認する方法を教わりました。なるほどなるほど…。お焦げのいい香りのごはんは、かわいいおにぎりになりました。



やきにくを片手にはいチーズ。
キャンパスさっぽろの仲間と先生と一緒に悩んだり、笑ったりする同士みたいです。学校とは違う良さがあります。



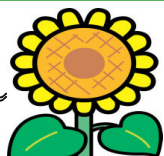
いろいろな人に支えられて半年きたんだね。焼き肉食べて、お腹も心もいっぱいになりました。



みんなでながーくなって焼き肉をしました。焼きそばやエビやイカも焼きました。もー、お腹いっぱい…。



飯ごうです。お米をといで入れたところですよ。これから火にかけます。なんだか、うれしそうですね。



講演会のお知らせ

高等養護学校を卒業した青年達が、将来自立して豊かな生活を営むことができるように、生活する力、自分らしく生きる力、社会参加する力を高める学習の場を北海道にも作りたい。そんな願いから、自立訓練(生活訓練)事業を使い、学びの作業所「チャレンジキャンパスさっぽろ」を4月に開設しました。

今回の講演では、北海道よりも先駆けて学びの場を開講している小畑耕作先生をお呼びすることにしました。「青年期の2年間で学ぶことがどんなに大事なことになるのか」を和歌山の4年間の実践をもとにお話ししていただきます。また、学びの作業所を卒業した青年たちの現在の様子もお話ししていただく予定です。

とき	10月15日(土)	13:00から17:00
ところ	札幌市産業振興センター 2階セミナールームA 札幌市白石区東札幌5条1丁目 *イーアス 札幌の裏	
演題	高等養護学校卒業後の新たな進路を拓く ～青年期の学びの場として～	
講師	社会福祉法人 きのかわ福祉会 理事長 小畑 耕作 (和歌山県立紀北支援学校教諭)	



* 18:00より小畑先生と懇親会を行います。親子での参加もできます。
懇親会参加希望の方は申込用紙に「懇親会希望」(名前・人数)と書いてください。